

午前・午後 時 分受付

こすると消えるペンは使用しないでください。

取扱：□本庁

□

補記 あり・なし

出生届

令和 年 月 日 届出

福島県郡山市長

| | | | | | | | |
|-----|----------|------|------|-----|----|-----|----|
| 受理 | 令和 年 月 日 | | | | | | |
| 第 号 | | | | | | | |
| 受付 | 書類調査 | 戸籍記載 | 記載調査 | 調査票 | 附票 | 住民票 | 通知 |

| | | | | |
|-------|--|--|-------------------|------------------------------------|
| (1) 生 | (フリガナ) 子の氏名 | 氏名 | 父母との続き柄 | □嫡出子 (□男) |
| | (外国人のときはローマ字を付記してください) | | | □嫡出でない子 (□女) |
| (2) ま | 生まれたとき | 令和 年 月 日 | □午前 □午後 | 時 分 |
| (3) れ | 生まれたところ | 番地番 号 | | |
| (4) た | 住所 | 番地番 号 | | |
| | | (方書) | | |
| (5) 生 | 父母の氏名 生年月日 | 父 | 母 | |
| | | 昭和 平成 年 月 日 (満 歳) | 昭和 平成 年 月 日 (満 歳) | |
| (6) れ | 本籍 | 番地番 | | |
| | | 筆頭者の氏名 | | |
| (7) 子 | 同居を始めたとき | 平成・令和 年 月 [結婚式をあげたとき、または、同居を始めたときのうち早いほうを書いてください] | | |
| (8) の | 父と母 | 子が生まれたときの世帯のおもな仕事と | | |
| | | <input type="checkbox"/> 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 <input type="checkbox"/> 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 <input type="checkbox"/> 3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業者数が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input type="checkbox"/> 4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input type="checkbox"/> 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 <input type="checkbox"/> 6. 仕事をしている者のいない世帯 <small>(国勢調査の年... 年...の4月1日から翌年3月31日までに子が生まれたときだけ書いてください)</small> | | |
| (9) 人 | 父母の職業 | 父の職業 | 母の職業 | |
| その他 | □ 命名前の出生証明書につき子の氏名欄空欄 | | | |
| 届出人 | <input type="checkbox"/> 1. 父母 <input type="checkbox"/> 2. 法定代理人 [] <input type="checkbox"/> 3. 同居者 <input type="checkbox"/> 4. 医師 <input type="checkbox"/> 5. 助産師 <input type="checkbox"/> 6. その他の立会者 <input type="checkbox"/> 7. 公設所の長 | | | |
| | 住所 | □(4)欄と同じ 番地番 号 (方書) | | |
| | 本籍 | □(6)欄と同じ 番地番 筆頭者の氏名 □(6)欄と同じ | | |
| 署名 | | 印 | | 昭和 平成 年 月 日生 |
| 事件簿番号 | | 婚姻 年 月 日 | | 日中連絡のとれるところ 電話 () 自宅 勤務先 携帯 |

届出人の署名は、生まれた子の父または母が自署してください。届出人が署名をしたあと届書を持参する方は、親族その他の方でもかまいません。届出義務者は、嫡出子の場合は父または母、嫡出でない子の場合は母です。

記入の注意

鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。

子が生まれた日からかぞえて14日以内に提出してください。

子の名は、常用漢字、人名用漢字、かたかな、ひらがなで書いてください。子が外国人のときは、原則かたかなで書くとともに、住民票の処理上必要ですから、ローマ字を付記してください。

日本国籍を有する子の場合、名のフリガナ欄には、氏名として用いられる文字の読み方として一般に認められている読み方を記載してください。

「嫡出子」とは、婚姻関係にある父母の間に生まれた子で、「嫡出でない子」とは、婚姻関係にない父母の間に生まれた子です。
例(嫡出子で初めての男子の場合)

嫡出子 (長 男 女)

生まれたところが、台湾またはパレスチナ(ヨルダン川西岸地区及びガザ地区)である場合、地域から記載することができます。

筆頭者の氏名には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。外国人のうち、次の地域の法を本国法とする人は、国籍に代えて地域を記載することができます。

- 1 台湾
- 2 パレスチナ(ヨルダン川西岸地区及びガザ地区)

子の父または母が、まだ戸籍の筆頭者となっていない場合は、新しい戸籍がつくられますので、この欄に希望する本籍を書いてください。

届け出られた事項は、人口動態調査(統計法に基づく基幹統計調査、厚生労働省所管)にも用いられます。

御持参いただくもの

◎母子健康手帳(親子健康手帳)

出生証明書

記入の注意

| | | |
|------------------------|--------------------------|--------------------------------|
| 子の氏名 | 男女の別 | 1男 2女 |
| 生まれたとき | 令和 年 月 日 | 午前 時 分 午後 時 分 |
| 出生したところ及びその種別 | 出生したところの種別 | 1 病院 2 診療所 3 助産所 4 自宅 5 その他 |
| | 出生したところの種別 1~3 施設の名称 | 番地番 号 |
| 体重及び身長 | 体重 グラム | 身長 センチメートル |
| 単胎・多胎の別 | 1 単胎 2 多胎(子中第 子) | |
| 母の氏名 | 妊娠週数 | 満 週 日 |
| この母の出産した子の数 | 出生子 (この出生子及び出生後死亡した子を含む) | 人 胎 |
| 1 医師 2 助産師 3 その他 | 上記のとおり証明する。 | 令和 年 月 日 (住所) 番地番 号 (氏名) |

夜の12時は「午前0時」、昼の12時は「午後0時」と書いてください。

体重及び身長は、立会者が医師又は助産師以外の者で、わからなければ書かなくてもかまいません。

この母の出産した子の数は、当該母又は家人などから聞いて書いてください。

この出生証明書の作成者の順序は、この出生の立会者が例えば医師・助産師ともに立ち会った場合には医師が書くように1、2、3の順序に従って書いてください。

この欄は父、母又はその法定代理人である届出人が記載してください。

地方公共団体情報システム機構 宛 個人番号カード交付申請書 兼 電子証明書発行申請書
(出生届の届出地市区町村長 宛)

申請にあたり、以下について記入してください。
 氏名、住所、生年月日、性別は出生届に記載された内容と同じです
 住所地又は住所地以外の希望した送付先にて確実に個人番号カードを受けとれます

| | |
|---------------------------------|-----------------------|
| ①利用者証明用電子証明書暗証番号 | □利用者証明用電子証明書の発行を希望しない |
| ②住民基本台帳用暗証番号【必須】 | ③券面事項入力補助用暗証番号【必須】 |
| ④個人番号カード送付先【住所地以外への送付を希望する場合】 | |
| ⑤住所地において個人番号カードの送付を受けることができない理由 | |
| ⑥連絡先電話番号【必須】 | |

(注)
 ①利用者証明用電子証明書を利用するための暗証番号です。利用者証明用電子証明書...インターネットを閲覧する際などに、利用者本人であることを証明する仕組みであり、健康保険証としての利用などに必要です。利用者証明用電子証明書の発行を希望しない場合、①の欄に暗証番号は記入せず、□に✓をつけてください。
 ②住民票コードをテキストデータとして利用するための暗証番号です。
 ③個人番号や基本4情報を確認し、テキストデータとして利用するための暗証番号です。
 ④個人番号カードは、簡易書留等により住所地へ送付されます。住所地以外の地を個人番号カードの送付先とする場合のみ記載してください。

※出生届、出生証明書に記載された事項は、この申請にも用いられます。
 ※電子証明書について、氏名のコンピューター入力に際して画面上に正確に表示されない文字(代替対象文字)は、代替文字に置き換わります。代替文字を変更したい場合は、個人番号カードの交付後に、住所地市区町村長へその旨を申し出てください。



※出生届の手続について、悩みや困りごとがあれば、お近くの市区町村又は法務局にご相談ください。出生届を届け出なければ、その子の戸籍がつかず、不利益を被るおそれがあります。

詳しくは法務省のホームページをご覧ください。 [無戸籍 法務省](#)

届出受理後は返却できません

原本提出(死亡届)

午前・午後 時 分受付

取扱: □本庁

こすると消えるペンは使用しないでください。

□ 補記 あり・なし

死亡届

令和 年 月 日 届出

福島県郡山市長

| | |
|-----|----------|
| 受理 | 令和 年 月 日 |
| 第 号 | |
| 受付 | 書類調査 |
| | 戸籍記載 |
| | 記載調査 |
| | 調査票 |
| | 附票 |
| | 住民票 |
| | 通知 |

| | | | |
|------|------------------|--|---|
| (1) | (フリガナ) | | |
| (2) | 氏名 | 氏 名 | □男 □女 |
| (3) | 生年月日 | 大正・昭和 平成・令和 | 年 月 日 (生まれてから30日以内に死亡したときは生まれた時刻も書いてください) □午前 □午後 時 分 |
| (4) | 死亡したとき | 令和 年 月 日 | □午前 □午後 時 分 |
| (5) | 死亡したところ | | 番地 番 号 |
| (6) | 住所 | (方書) | 番地 番 号 |
| (7) | 本籍 | | 番地 番 号 |
| (8) | 死亡した人の夫または妻 | □ いる (満 歳) □ いない (□ 未婚 □ 死別 □ 離別) | |
| (10) | 死亡したときの世帯のおもな仕事と | <input type="checkbox"/> 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 <input type="checkbox"/> 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 <input type="checkbox"/> 3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業者数が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input type="checkbox"/> 4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input type="checkbox"/> 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 <input type="checkbox"/> 6. 仕事をしている者のいない世帯 | |
| (11) | 死亡した人の職業・産業 | (国勢調査の年... 年...の4月1日から翌年3月31日までに死亡したときだけ書いてください) 職業 産業 | |
| | その他 | | |
| | 届出 | <input type="checkbox"/> 1.同居の親族 <input type="checkbox"/> 2.同居していない親族 <input type="checkbox"/> 3.同居者 <input type="checkbox"/> 4.家主 <input type="checkbox"/> 5.地主 <input type="checkbox"/> 6.家屋管理人 <input type="checkbox"/> 7.土地管理人 <input type="checkbox"/> 8.公設所の長 <input type="checkbox"/> 9.後見人 <input type="checkbox"/> 10.保佐人 <input type="checkbox"/> 11.補助人 <input type="checkbox"/> 12.任意後見人 <input type="checkbox"/> 13.任意後見受任者 | |
| | 人 | 住所 | □(6)欄に同じ 番地 番 号 (方書) |
| | | 本籍 | □(7)欄に同じ 番地 番 号 筆頭者の氏名 □(7)欄に同じ |
| | | 署名 | (※押印は任意) 印 大正・昭和 平成 年 月 日生 |

記入の注意

鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。死亡したことを知った日からかぞえて7日以内に出してください。

□には、あてはまるものに☑のようにしをつけてください。

→死亡したところが、台湾またはパレスチナ(ヨルダン川西岸地区及びガザ地区)である場合、地域から記載することができます。

→「筆頭者の氏名」には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。外国人のうち、次の地域の法を本国法とする人は、国籍に代えて地域を記載することができます。
1 台湾
2 パレスチナ(ヨルダン川西岸地区及びガザ地区)

→内縁のものはふくまれません。

→死亡者について書いてください。

届け出られた事項は、人口動態調査(統計法に基づく基幹統計調査、厚生労働省所管)、がん登録等の推進に関する法律に基づく全国がん登録(厚生労働省所管)、高齢者の医療の確保に関する法律に基づくレセプト情報・特定健診等情報データベース(厚生労働省所管)、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく所要の感染症対策(厚生労働省所管)にも用いられます。

死亡診断書(死体検案書)

この死亡診断書(死体検案書)は、我が国の死因統計作成の資料としても用いられます。楷書で、できるだけ詳しく書いてください。

| | | | | |
|--------------------|--|---|--|----------------|
| 氏名 | 1男 2女 | 生年月日 | 明治 昭和 大正 平成 令和 | 年 月 日 |
| 死亡したとき | 令和 年 月 日 | 午前・午後 | 時 分 | |
| 死亡したところ | 死亡したところの種別 | 1病院 2診療所 3介護医療院・介護老人保健施設 4助産所 5老人ホーム 6自宅 7その他 | | |
| (12)(13) 及びその種別 | 死亡したところ | 番 地 番 号 | | |
| | (死亡したところの種別1~5) 施設の名称 | () | | |
| 死亡の原因 | (7) 直接死因 | 発病(発症) 又は受傷から死亡までの期間 | | |
| | I (イ) (7)の原因 | | | |
| | (イ) (イ)の原因 | | | |
| | (I) (イ)の原因 | | | |
| | II 直接には死因に関係しないがI欄の傷病経過に影響を及ぼした傷病名等 | ただし、1日未満の場合は、時、分等の単位で書いてください(例:1年3カ月、5時間20分) | | |
| 手術 | 1無 2有 | 部位及び主要所見 | 手術年月日 | 令和 平成 昭和 年 月 日 |
| 解剖 | 1無 2有 | 主要所見 | | |
| 死因の種類 | 1 病死及び自然死 | 外因死 | 不慮の外因死 { 2交通事故 3転倒・転落 4溺水 5煙、火災及び火焰による傷害 } 6窒息 7中毒 8その他 | |
| | 12 不詳の死 | その他及び不詳の外因死 { 9自殺 10他殺 11その他及び不詳の外因 } | | |
| 外因死の追加事項 | 傷害が発生したとき | 令和・平成・昭和 年 月 日 午前・午後 時 分 | 傷害が発生したところ | 都道府県 市区町村 |
| | 傷害が発生したところの種別 | 1住居 2工場及び建築現場 3道路 4その他() | | |
| | 手段及び状況 | | | |
| 生後1年未満で病死した場合の追加事項 | 出生時体重 | 単胎・多胎の別 | 妊娠週数 | |
| | グラム | 1単胎 2多胎(子中第 子) | 満 週 | |
| | 妊娠・分娩時における母体の病態又は異状 | 母の生年月日 | 前回までの妊娠の結果 | |
| | 1無 2有 () | 昭和 平成 令和 年 月 日 | 出生児 人 死産児 胎 (妊娠満22週以後に限る) | |
| (18) | その他特に付言すべきことがら | | | |
| (19) | 上記のとおり診断(検案)する | 診断(検案)年月日 | 令和 年 月 日 | |
| | 本診断書(検案書)発行年月日 | 令和 年 月 日 | | |
| | (病院、診療所、介護医療院若しくは介護老人保健施設等の名称及び所在地又は医師の住所) | 番地 番 号 | | |
| | (氏名) | 医師 | | |

記入の注意

生年月日が不詳の場合は、推定年齢をカッコを付けて書いてください。

夜の12時は「午前0時」、昼の12時は「午後0時」と書いてください。

「5老人ホーム」は、介護老人ホーム、特別介護老人ホーム、軽費老人ホーム及び有料老人ホームをいいます。

死亡したところの種別で「3介護医療院・介護老人保健施設」を選択した場合は、施設の名称に続けて、介護医療院、介護老人保健施設の別をカッコ内に書いてください。

傷病名等は、日本語で書いてください。I欄では、各傷病について発病の型(例:急性)、病因(例:胃噴門部がん)、性状(例:病理組織型)、等もできるだけ書いてください。

妊娠中の死亡の場合は「妊娠満何週」、また、分娩中の死亡の場合は「妊娠満何週の分娩中」と書いてください。産後42日未満の死亡の場合は「妊娠満何週産後満何日」と書いてください。

I欄及びII欄に関係した手術について、術式又はその診断名と関連のある所見等を書いてください。紹介状や伝聞等による情報についてもカッコを付けて書いてください。

「2交通事故」は、事故発生からの期間にかかわらず、その事故による死亡が該当します。「5煙、火災及び火焰による傷害」は、火災による一酸化炭素中毒、窒息等も含まれます。

「1住居」とは、住宅、庭等をいい、老人ホーム等の居住施設は含まれません。

傷害がどのような状況で起こったかを具体的に書いてください。

妊娠週数は、最終月経、基礎体温、超音波計測等により推定し、できるだけ正確に書いてください。母子健康手帳等を参考に書いてください。

氏名の欄には、医師本人が署名してください。記名押印は原則不可です。

●署名は必ず本人が自署してください。

届出人続柄

日中連絡のとれるところ

電話 ()

自宅 勤務先 携帯

| | |
|-----------|--------------------|
| 埋・火葬場所 | □郡山市東山悠苑 □ |
| 埋・火葬年月日時分 | 令和 年 月 日 午前 午後 時 分 |
| 火葬許可申請者 | 住所 □届出人と同じ |
| | 氏名 □届出人と同じ |
| | 死亡者との続柄 □届出人と同じ |

市職員使用欄

棒番号



午前・午後 時 分受付

取扱：□本庁

こすると消えるペンは使用しないでください。

□

補記 あり・なし

婚姻届

受理 令和 年 月 日
第 号

令和 年 月 日届出

| | | | | | | | |
|----|------|------|------|-----|----|-----|----|
| 受付 | 書類調査 | 戸籍記載 | 記載調査 | 調査票 | 附票 | 住民票 | 通知 |
|----|------|------|------|-----|----|-----|----|

福島県郡山市長

| | | | | | |
|----------------|---------------------------|---|------|---------------------|------|
| (1) | 氏名 | 夫になる人 | | 妻になる人 | |
| | | 氏名 | 氏名 | 氏名 | 氏名 |
| (2) | 住所 | 夫 | | 妻 | |
| | | 番地番号 | 番地番号 | 番地番号 | 番地番号 |
| (3) | 本籍 | 夫 | | 妻 | |
| | | 番地番号 | 番地番号 | 番地番号 | 番地番号 |
| (4) | 婚姻後の夫婦の氏・新しい本籍 | 父 | 続柄 | 父 | 続柄 |
| | | 母 | 男 | 母 | 女 |
| | | 養父 | 続柄 | 養父 | 続柄 |
| | | 養母 | 養子 | 養母 | 養女 |
| (5) | 同居を始めたとき | 昭和・平成・令和 年 月 | | | |
| | | 〔結婚式をあげたとき、または、同居を始めたときのうち早いほうを書いてください〕 | | | |
| (6) | 初婚・再婚の別 | □初婚 再婚 | | □初婚 再婚 | |
| | | 〔死別 昭和・平成・令和 年 月 日〕 | | 〔死別 昭和・平成・令和 年 月 日〕 | |
| (7) | 同居を始める前の夫妻のそれぞれの世帯のおもな仕事と | 1.農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 | | | |
| | | 2.自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 | | | |
| (8) | 夫妻の職業 | 夫の職業 | | 妻の職業 | |
| | | (国勢調査の年... 年...の4月1日から翌年3月31日までに届出をするときだけ書いてください) | | | |
| その他 | | | | | |
| 届出人署名 (※押印は任意) | | 夫 | 妻 | | |
| 事件簿番号 | | | | | |

| | |
|-----|------------------|
| 夫 | □免 □旅 □マ □その他 □無 |
| 不受理 | □有 □無 |
| 通知 | □要 □不要 |
| 妻 | □免 □旅 □マ □その他 □無 |
| 不受理 | □有 □無 |
| 通知 | □要 □不要 |
| 使者 | □免 □旅 □マ □その他 □無 |

氏のかわる方は、婚姻前の氏(旧姓)で署名してください。

記入の注意

鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。
この届は、あらかじめ用意して、結婚式をあげる日または同居を始める日に出すようにしてください。
その日が日曜日や祝日でも届けることができます。

◎ 証人は婚姻の事実を知っている成人の方2人が必要です。必ず自署してもらってください。

| | |
|-------------|----------------------------|
| 証人 | |
| 署名 (※押印は任意) | 印 |
| 生年月日 | 大正・昭和 年 月 日 平成・西暦 年 月 日 |
| 住所 | 番地番号 (方書) |
| 本籍 | 番地番号 |

「筆頭者の氏名」には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。
外国人のうち、次の地域の法を本国法とする人は、国籍に代えて地域を記載することができます。
1 台湾
2 パレスチナ(ヨルダン川西岸地区及びガザ地区)

□には、あてはまるものに☑のようにしるしをつけてください。
外国人と婚姻する人が、まだ戸籍の筆頭者となっていない場合には、新しい戸籍がつけられますので、希望する本籍を書いてください。

再婚のときは、直前の婚姻について書いてください。
内縁のものはふくまれません。

届け出られた事項は、人口動態調査(統計法に基づく基幹統計調査、厚生労働省所管)にも用いられます。

●署名は必ず本人が自署してください。

◆住民異動届について◆

住所が変わる人は、別に住民異動届(転入届、転居届、世帯変更届など)の手続きが必要となります。

婚姻届と同時に住民異動届を出すときは、「住所(2)欄」に新住所を記入してください。

市外からの転入の人は、旧住所地の市町村からの転出証明書を御持参ください。

なお、閉庁日(土・日曜日、祝日等)や時間外は住民異動届は受付できませんので後日届出願います。

日中連絡のとれるところ

電話 夫 () 妻 ()

自宅 勤務先 携帯 自宅 勤務先 携帯



□新本籍確認済 □夫 同日転居・転入
□新本籍は街区符号 □妻 同日転居・転入
□未挙式未同居

| | | | |
|-------|---|-------|-------|
| 住定年月日 | 夫 | S・H・R | 年 月 日 |
| | 妻 | S・H・R | 年 月 日 |

(届出する人は、記入の必要はありません。)

午前・午後 時 分受付

取扱：□本庁

こすると消えるペンは使用しないでください。

□

補記 あり・なし

離婚届

令和 年 月 日 届出

福島県郡山市長

受理 令和 年 月 日
第 号

| | | | | | | | |
|----|------|------|------|-----|----|-----|----|
| 受付 | 書類調査 | 戸籍記載 | 記載調査 | 調査票 | 附票 | 住民票 | 通知 |
|----|------|------|------|-----|----|-----|----|

| | |
|------|---|
| (1) | 氏名 (フリガナ) 夫 氏 名 妻 氏 名 生年月日 昭和/平成 年 月 日 昭和/平成 年 月 日 住所 〔住民登録をしているところ〕 番地 番 号 番地 番 号 (方書) |
| (2) | 本籍 (外国人のときは国籍だけを書いてください) 筆頭者の氏名 父母及び養父母の氏名 父 母 続き柄 男 妻の父 母 続き柄 女 〔右記の養父母以外にも養父母がいる場合にはその他の欄に書いてください〕 養父 続き柄 養父 続き柄 養母 養子 養母 養女 |
| (3) | 離婚の種別 □協議離婚 年 月 日成立 □和解 年 月 日成立 □調停 年 月 日成立 □請求の認諾 年 月 日認諾 □審判 年 月 日確定 □判決 年 月 日確定 |
| (4) | 婚姻前の氏にもどる者の本籍 □夫 は □もとの戸籍にもどる □妻 は □新しい戸籍をつくる □法77条の2同時届出 番地 番 (よみかた) 筆頭者の氏名 |
| (5) | 未成年の子の名 夫が親権を行う子 妻が親権を行う子 |
| (6) | 同居の期間 昭和・平成・令和 年 月 から 昭和・平成・令和 年 月 まで (同居を始めたとき) (別居したとき) |
| (7) | 別居する前の住所 番地 番 号 (方書) |
| (8) | 別居する前の世帯のおもな仕事と □1.農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 □2.自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 □3.企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業者数が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) □4.3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) □5.1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 □6.仕事をしている者のいない世帯 (国勢調査の年... 年...の4月1日から翌年3月31日までに届出をするときだけ書いてください) |
| (9) | 夫妻の職業 夫の職業 妻の職業 |
| (10) | その他 □(7)・(8)欄同居中のため空欄 |
| | 届出人署名 (※押印は任意) 夫 妻 印 印 |
| | 事件簿番号 |

| | |
|-----|----------------------|
| 夫 | □免 □旅 □マ □その他 □無 () |
| 不受理 | □有 □無 |
| 通知 | □要 □不要 |
| 妻 | □免 □旅 □マ □その他 □無 () |
| 不受理 | □有 □無 |
| 通知 | □要 □不要 |
| 使者 | □免 □旅 □マ □その他 □無 () |

記入の注意

◎ 証人は婚姻の事実を知っている成人の方2人

鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。

筆頭者の氏名欄には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。

外国人のうち、次の地域の法を本国法とする人は、国籍に代えて地域を記載することができます。

- 台湾
- パレスチナ (ヨルダン川西岸地区及びガザ地区)

そのほかに必要なもの

- 調停離婚のとき→調停調書の謄本
- 審判離婚のとき→審判書の謄本と確定証明書
- 和解離婚のとき→和解調書の謄本
- 認諾離婚のとき→認諾調書の謄本
- 判決離婚のとき→判決書の謄本と確定証明書

| 証人 (協議離婚のときだけ必要です) | | |
|--------------------|-------------------|-------------------|
| 署名 (※押印は任意) | 印 | 印 |
| 生年月日 | 大正・昭和/平成・西暦 年 月 日 | 大正・昭和/平成・西暦 年 月 日 |
| 住所 | 番地 番 号 (方書) | 番地 番 号 (方書) |
| 本籍 | 番地 番 | 番地 番 |

離婚によって、住所や世帯主が変わる方は、あらたに住所変更届、世帯主変更届の手続きが必要となりますので、御注意ください。
なお、離婚届と同時にこれらの届を出すときは、住所欄は、変更後の住所を書いてください。
閉庁日(土・日曜日、祝日等)や時間外は住民異動届は受付できませんので後日届出願います。

□には、あてはまるものに☑のようにするしをつけてください。

今後も離婚の際に称していた氏を称する場合には、左の欄には何も記載しないでください。
(この場合にはこの離婚届と同時に別の届書を提出する必要があります。)

同居を始めたときの年月は、結婚式をあげた年月または同居を始めた年月のうち早いほうを書いてください。

届け出られた事項は、人口動態調査(統計法に基づく基幹統計調査、厚生労働省所管)にも用いられます。

父母が離婚するときは、面会交流や養育費の分担など子の監護に必要な事項についても父母の協議で定めることとされています。
この場合には、子の利益を最も優先して考えなければならないこととされています。

未成年の子がいる場合は、次の□のあてはまるものにするしをつけてください。

□面会交流について取決めをしている。 □まだ決めていない。
〔面会交流：未成年の子と離れて暮らしている親が子と定期的、継続的に、会って話をしたり、一緒に遊んだり、電話や手紙などの方法で交流すること。〕

経済的に自立していない子(未成年の子に限られません)がいる場合は、次の□のあてはまるものにするしをつけてください。

□養育費の分担について取決めをしている。 □まだ決めていない。
〔養育費：経済的に自立していない子(例えば、アルバイト等による収入があっても該当する場合があります)の衣食住に必要な経費、教育費、医療費など。〕

取決め方法：(□公正証書 □それ以外)

このチェック欄についての法務省の解説動画



詳しくは、各市区町村の窓口において配布している「子どもの養育に関する合意書作成の手引きとQ&A」をご覧ください。
面会交流や養育費のほか、財産分与、年金分割等、離婚をするときに考えておくべきことをまとめた情報を法務省ホームページ内にも掲載しています。

Q 法務省 離婚



法務省作成のパンフレット



日本司法支援センター(法テラス)では、面会交流の取決めや養育費の分担など離婚をめぐる問題について、相談窓口等の情報を無料で提供しています。無料法律相談や弁護士費用等の立替えをご利用いただける場合もありますので、お問い合わせください。

【法テラス・サポートダイヤル】0570-078374 【公式ホームページ】https://www.houterasu.or.jp

婚姻中の氏で署名してください。

- 新本籍確認済 □新本籍は街区符号
- もどる戸籍確認済 □夫 同日転居・転入
- 妻 同日転居・転入

| | | |
|-------|---------------|---------------|
| 住定年月日 | 夫 S・H・R 年 月 日 | 妻 S・H・R 年 月 日 |
|-------|---------------|---------------|

(届出する人は、記入の必要はありません。)

日中連絡のとれるところ

電話 夫 () 妻 ()
自宅 勤務先 携帯 自宅 勤務先 携帯

●署名は必ず本人が自署してください。



午前・午後 時 分受付

こすると消えるペンは使用しないでください。

取扱：□本庁

□

補記 あり・なし

離婚の際に称していた氏を称する届

(戸籍法77条の2の届)

令和 年 月 日届出

福島県郡山市長

| | | | | | | | |
|----|----------|------|------|----|-----|----|--|
| 受理 | 令和 年 月 日 | | | | | | |
| 第 | 号 | | | | | | |
| 受付 | 書類調査 | 戸籍記載 | 記載調査 | 附票 | 住民票 | 通知 | |

| | | | | | | | |
|-------------------------------|---------------------|---|---|------------------|----|----|----|
| (1) | (フリガナ) | (現在の氏名、離婚届とともに届け出るときは離婚前の氏名) | | | | | |
| | 離婚の際に称していた氏を称する人の氏名 | 氏 | 名 | 昭和 年 月 日生 | 平成 | | |
| (2) | 住所 | | | | | 番地 | 番号 |
| | (住民登録をしているところ) | (方書) | | | | | |
| (3) | 本籍 | (離婚届とともに届け出るときは、離婚前の本籍) | | | | 番地 | 番号 |
| | | 筆頭者の氏名 | | | | | |
| (4) | (よみかた) 氏 | 変更前 (現在称している氏) | | 変更後 (離婚の際称していた氏) | | | |
| | | | | | | | |
| (5) | 離婚年月日 | 令和 年 月 日 | | | | | |
| (6) | 離婚の際に称していた氏を称した後の本籍 | ((3)欄の筆頭者が届出人と同一で同籍者がいない場合には記載する必要はありません) | | | | 番地 | 番号 |
| | | 筆頭者の氏名 | | | | | |
| その他 | | | | | | | |
| 届出人署名 (※押印は任意) (変更前の氏名) | | | | | | | 印 |

◎署名は必ず本人が自署してください。

日中連絡のとれるところ

電話 ()
自宅 勤務先 携帯

住定年月日 S・H・R 年 月 日

(届出する人は、記入の必要はありません。)

- 新本籍確認済
- 新本籍は街区符号



午前・午後 時 分受付

取扱：□本庁

こすると消えるペンは使用しないでください。

□

補記 あり・なし

転 籍 届

令和 年 月 日 届出

福島県郡山市長

| | | | | | | | |
|-----|----------|------|------|-----|-----|-----|--|
| 受 理 | 令和 年 月 日 | | | | | | |
| 第 | 号 | | | | | | |
| 受 付 | 書類調査 | 戸籍記載 | 記載調査 | 附 票 | 住民票 | 通 知 | |

住定年月日
(記入の必要は
ありません)

| | | |
|---|---|---|
| S | . | . |
| H | . | . |
| R | . | . |
| S | . | . |
| H | . | . |
| R | . | . |
| S | . | . |
| H | . | . |
| R | . | . |
| S | . | . |
| H | . | . |
| R | . | . |

| | | |
|---------------------|-------------------------|----------------------|
| 本 籍 | 番地番 | |
| | (フリガナ) 筆頭者の氏名 | |
| 新しい本籍 | 番地番 | |
| おなじ戸籍にある人 | 名のみ記入 (住所…住民登録をしているところ) | 番地番号 |
| | (フリガナ) 筆頭者 (名) | (方書) |
| | 配偶者 (名) | □ 同上 (方書) |
| | (名) | □ 同上 (方書) |
| | (名) | □ 同上 (方書) |
| | (名) | □ 同上 (方書) |
| | (名) | □ 同上 (方書) |
| その他 | □ 生存配偶者から届出 | |
| 届出人署名 (※押印は任意) 生年月日 | 筆頭者 印 大正・昭和・平成 年 月 日 | 配偶者 印 大正・昭和・平成 年 月 日 |

◎ 署名は必ず本人が自署してください。

| 届 出 人 | | | |
|---|----------------------|----------------------|--|
| (転籍する人が十五歳未満のときに書いてください。届出人となる未成年後見人が3人以上のときは、ここに書くことができない未成年後見人について、その他欄又は別紙(届出人全員が別紙の余白部分に署名してください。署名欄に押印をしている場合は、余白部分への押印でも差し支えありません。)に書いてください。) | | | |
| 資 格 | 親権者 (□父 □養父) □未成年後見人 | 親権者 (□母 □養母) □未成年後見人 | |
| 住 所 | 番地番号 (方書) | 番地番号 (方書) | |
| 本 籍 | 番地番 筆頭者の氏名 | 番地番 筆頭者の氏名 | |
| 署 名 (※押印は任意) 生年月日 | 印 大正・昭和・平成 年 月 日 | 印 大正・昭和・平成 年 月 日 | |

- 新本籍確認済
- 新本籍は街区符号

日中連絡のとれるところ

電話 ()

自宅 勤務先 携帯

